法典小学校の教育課程の編成について

１　基本的な考え方

児童の人間としての調和のとれた育成と学力の向上を目指し、地域や学校の実態及び心身の発達段階の特性を十分考慮して適切な教育課程を編成する。

２　基本方針

①公教育の立場から、関係諸法令、学習指導要領並びに県・市教育委員会の指針や基準に準拠して編成する。

②学校教育目標の達成に向けて段階的な目標を設定するとともに、教育内容のより一層の厳選・重点化を図ることができるように教育課程を編成する。

③各教科、特別の教科道徳、外国語活動、特別活動及び総合的な学習の時間の特質や関連を考慮し、全体として調和のとれた教育課程を編成する。

④児童が基礎・基本や自ら学び自ら考える力を身につけることができるように指導方法の工夫改善や弾力的な時間割を考慮して教育課程を編成する。

⑤創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めるために、計画・実践・評価のサイクルを重視して教育課程を編成する。

⑥開かれた学校づくりを進めるため、家庭や地域の教育力を生かした教育活動が展開できるように教育課程を編成する。

３　本年度の重点

児童に生きる力を育むことを目指し、特色ある教育活動を展開する中で、自ら学ぶ力、進んで行動する気持ちの育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の定着を図り、一人一人の個性を生かす教育の充実に努める。

４　指導の重点並びに主要施策

【学ぶ子】

自ら進んで学習する子を育てる

Ⅰ各教科について

①学校生活のルールと学習のやくそくを守り、学習環境を自分で整えることができる児童の育成。

②学習の基礎・基本の定着

③主体的・対話的で深い学びのある授業実現

④児童主体の授業展開づくり

⑤指導計画や評価方法の工夫改善を行う。

⑥学ぶことの楽しさが味わえる授業の導入、単元計画、授業展開の工夫

⑦各教科の特質に応じて、少人数授業や習熟度別指導など指導方法の工夫をする。

⑧学習に一人一人がじっくりと取り組めるような場や支援を工夫する。

⑨個別最適な学びの時間を確保するとともに、児童自らに学習方法を調整させる。

Ⅱ総合的な学習の時間について（にじの時間）

①地域や学校、児童の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動の展開を目指す。

②地域の人材や地域の教材を活用し、実社会の生きた知識や経験にふれる機会を増やす。

③自ら課題を見付け、自ら学び自ら考え、問題を解決する力を育成する。

・体験活動の推進……自然体験や社会体験、観察や実験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習を取り入れる。

・問題解決的な学習の推進…課題を解決する過程を重視するとともに課題を設けて取り組む学習を積極的に取り入れる。

④学び方やものの考え方を身に付け、問題解決に向けての主体的な態度を育成する。

・情報処理能力の育成……情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方など情報処理についての指導を重視する。

⑤各教科、道徳及び特別活動で身につけた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする。

『船橋「つなぐ」プロジェクト』

総合的な学習の時間を活用して、生活する身近な地域や船橋を学習材とし、地域への理解を深めながら、課題を見つけ解決策や改善を考える学びを通じ地域愛を育む学習を展開して主権者教育を推進する。

〔学習過程〕

①見出す　②自分で取り組む　③広げ深める　④まとめあげる

〔主権者意識を高める学習内容や方法〕

・正解が一つに定まらない問い

・学習を活用して解決を考える学び

・現実の具体的な事象を取り扱った学び

【豊かな心の子】

礼儀正しく、友だちを大切にし、動植物をいたわる、奉仕や福祉の心を持つ児童を養う。

Ⅰ道徳教育・道徳科について

①自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、感動する心など、豊かな人間性を育てる。

②学校の教育活動全体を通じて「特別の教科道徳」の時間を要として各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて適切に指導する。

③教師と児童及び児童相互の人間関係を深める。

④家庭や地域との連携を図りながら、自然体験活動など豊かな体験を通して児童の内面に根ざした道徳性の育成を図る。

Ⅱ特別活動

①望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。

②各教科、道徳及び総合的な学習の時間との関連を図りながら、一人一人の「かかわり合う力」を育てる。

③集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てる。

※クラブ活動……異学年の児童が一緒になって、各自の能力や特性を十分に発揮し、伸び伸びと楽しく、豊かな集団活動が自発的に展開できるように計画的に実施する。

【身体をきたえる子】

元気に遊んだり運動したりし、安全・衛生に気をつけて、食を大切にする児童を養う。

Ⅰ体育・健康について

①体育科の指導の充実を図る。

②体力の向上や健康・安全にかかわる教育諸活動をその特質に応じて積極的に行い、活動の充実を図る。

③保健指導、安全指導、給食指導など健康に関する指導・食育に関する指導を発達段階に応じて計画的に行う。

５　生徒指導について

「生徒指導」とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行う。（『生徒指導提要(改訂版）』2022）

つまり生徒指導では、児童が、深い自己理解に基づき、『何をしたいのか』『何をするべきか』、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択、設定してこの目標の達成のため、自発的、自律的、かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、すなわち『自己指導能力』を獲得することが目指される。

本校では生徒指導を学校教育目標を達成する手段の一つと考え、一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図り、社会的な資質や行動力を高めるように指導・援助するよう積極的な生徒指導を目指す。そのため、課題が生じた後に即応的・継続的に行うリアクティブな生徒指導だけでなく、課題が発生する前に常態的・先行的にプロアクティブな生徒指導に力を入れる。特定の課題が発生する前に、全ての児童を対象に進める、発達支持的生徒指導及び、課題未然防止的生徒指導である。教師の声掛け、励まし、賞賛等の働きかけによりそれらの生徒指導が充実する。

以上のことを意識したプロアクティブな生徒指導を行うにあたり、授業や学級経営では以下の４点（生徒指導の実践上の視点）を意識する。

(1) 自己存在感の感受
(2) 共感的な人間関係の育成
(3) 自己決定の場の提供
(4) 安全・安心な風土の醸成

また、以下の点についても意識して生徒指導を行う。

①児童理解を深め、望ましい人間関係に基づき、発達に即した指導・援助をする。
②学習指導の充実を図り、自己実現を目指すよう指導・援助する。
③学級活動を計画的に推進し、自発的な望ましい集団活動の充実を図る。
④基本的な生活習慣の確立を図る。
⑤生徒指導体制を確立し、教育相談を重視しながら、その充実を図る。
⑥家庭、地域社会、関係機関・団体及び学校相互の連携を強化する。

６　時間割表について

「自ら進んで行動する児童の育成」と「基礎的・基本的な内容の確実な定着と個性を生かす教育の充実を図る」ことを目指し、地域や学校及び児童の実態、各教科等や学習活動の特質に応じた指導方法の工夫改善の重要性を考え、弾力的に運用できる時間割を編成する。

Ⅰ日課

予定は連絡帳や学習用端末で知らせる。

Ⅱチャイム

毎時間チャイムを鳴らすことで生活リズムを整え、学力向上を目指す。朝の放送（8：00）は、放送委員会による校内放送を入れる。

Ⅲ下校時刻

通常日課の下校時刻は、原則 14：40 または 15：30 とする。日課表には、原則の下校時刻に「ごろ」を記載することとする。原則、決められた時間までに帰宅させる。完全下校については、その時刻の下校とする。

Ⅳ学校裁量時間

児童が主体的に活動できる時間の確保をねらいとして、学校裁量時間を十分に確保するように時間割を編成する。

①読書タイム……読書タイムを通じ豊かな心を養う目的で、月曜日の朝１５分間実施する。

②修学タイム……3～6 年生はモジュールとして授業時数にカウントする。（火・木・金を基本）
1 年生はカウントしないが、学習の時間として、基礎基本の定着を図る。
2 年生は後期にカウントする。

③ﾘﾌﾚｯｼｭﾀｲﾑ･元気ﾀｲﾑ……遊びを通して、体を動かすことが好きになることや友だちとのかかわり合いの広がりのために活用する。

④思いっきりタイム…自分の興味・関心があることやクラスの活動などに活用する。

⑤ワーキングタイム…勤労・清掃活動の時間として活用する。

７　おあしすの会

全校児童に対して、長期休業前に休業の意味を考えさせたり、長期休業後に休業中の生活をふり返らせたりする時間として活用する。学活の時間として体育館で行う。

８　英語指導

①第１・２学年、８くみの担任はＡＬＴとともに２０分の授業を実施する。（0.5 時間でとる）

②第３・４学年はＡＬＴとともに４５分の授業を実施する。（１時間でとる）

③第５・６学年は、１回４５分の授業を週に２回行う。内１時間はＡＬＴと共に授業を行い、残りの１時間は担任が実施する。

９　船橋市年間授業時数

（　）内は、週当たりのコマ数

区　分	第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
国　語	306(9)	315(9)	245(7)	245(7)	175(5)	175(5)
社　会	－	－	70(2)	90(2.6)	100(2.9)	105(3)
算　数	136(4)	175(5)	175(5)	175(5)	175(5)	175(5)
理　科	－	－	90(2.6)	105(3)	105(3)	105(3)
生　活	85(2.5)	87.5(2.5)	－	－	－	－
音　楽	68(2)	70(2)	60(1.7)	60(1.7)	50(1.4)	50(1.4)
図画工作	68(2)	70(2)	60(1.7)	60(1.7)	50(1.4)	50(1.4)
家　庭	－	－	－	－	60(1.7)	55(1.6)
体　育	102(3)	105(3)	105(3)	105(3)	90(2.6)	90(2.6)
道　徳	34(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)
特別活動	34(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)
総　合	－	－	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)
英語・外国語活動 外国語	17(0.5)	17.5(0.5)	35(1)	35(1)	70(2)	70(2)
総授業時数	850(25)	910(26)	980(28)	1015(29)	1015(29)	1015(29)